

四日市版コミュニティスクール報告書（令和4年度総括）

四日市市立大谷台小学校

校長 酒井 智子

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

「自主」「協働」「責任」をもとにした学校づくりビジョン「豊かな心と健やかな体で、主体的に学び合う子どもの育成」の達成に向けて、家庭・地域との協働と教職員の資質能力の向上を周知して取組を進めます。

そのために、次の3点を重点項目として取り組みます。

- ①地域の皆さんから学び、学習意欲の向上と実生活に役立つ取組
- ②子どもたちの安全・安心を守るため、学習環境の整備や防犯・防災の取組
- ③学校・地域が協働した取組

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

①クラブ活動（茶道クラブ・大正琴クラブ・EMクラブ）

クラブ活動では、今年度も「茶道クラブ・大正琴クラブ・EMクラブ」で地域の方をゲストティーチャーとして招きました。子どもたちは、それぞれのクラブにおいて専門的な指導を受け、興味を持って意欲的に活動しました。



「茶道クラブ」では、講師から学んだお茶のたて方を、招いた先生（客）に指南しました。「大正琴クラブ」は課題曲に取り組んだり、「EMクラブ」はEM菌を使ってプリン石鹼を作ったりしました。

②堀川浄化活動



PTAが中心となり、認定NPO法人「地域環境共生ネットワーク」の協力を得て、今年度も4年生の子どもたちが校区内を流れる堀川の浄化活動に取り組みました。河川浄化に効果があるEM菌を各家庭で作製し、堀川へ投入しました。社会科で学習した内容とも関連付けながら、環境学習としても取り組むことができました。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

①子ども見守り隊

毎日、子どもたちの登下校の様子を見守りながら、安全面での支援をしていただきました。特に、1年生の下校時刻に合わせて学校まで迎えに来たり、横断歩道などの危険個所にて安全確保をしたりするなど、子どもたちを見守っていただきました。全校児童を代表して、3年生の児童がお礼のメッセージを書き、お渡しし、感謝の気持ちを伝えました。



②校内環境整備



C S委員の呼びかけにより、地区自治会が中心となって校内環境整備を進めました。8月の厳しい暑さの中、約30名もの方に協力をしていただき、校内の草刈りを実施しました。また、長期休業中に、児童用トイレの掃除を行いました。3月に地区自治会ごとに実施する清掃活動に児童も参加し、地域の方と協力して美化活動を行いました。C S委員の提案により、季節ごとの校内掲示を行いました。学校・保護者・地域住民の連携や協力により、子どもたちの学習環境がしっかりと整えられ安心・安全な学校生活を送ることができました。

3 今後に向けて

このように地域協力者の温かい支援を受けて、本校の教育活動は多様に展開されています。積雪のあった日には、子どもたちが安全に登校できるようにと、地域の方、保護者、職員が協力して雪かきをし、地域・保護者・学校が一体となって子どもたちの環境づくりに努めていると実感することができました。今後も、学校が中心となりながらも、家庭・地域との連携をさらに深め、子どもたちの健全な育成を目指して、共通理解を図りながら取り組みたいと考えています。

本校の四日市版コミュニティスクールは発足5年目となりました。今年度は予定通りコミュニティスクール運営協議会を開催することができました。委員の方からいただいたご意見を職員で共有し、改善できるところを改善してきました。今後も、学校づくりビジョンに示す「めざす子どもの姿」を地域の方々と共有し、「チーム大谷台小学校」としてビジョン実現に向けた取り組みを推進していきたいと思えます。